

今年もボリュームアップの創刊16周年特大号!!

ライトニング

2010 Vol.193 5月号 特別定価￥880



追变わらないモノを
続けて16年。



始まりも中途半端である。そんな中途半端な記念は忘れきった。今年は16周年。普通は周年記号がまたまたやつてしまつ。でも周年記念特大号の始まりは12周年だった。事には思いつきも大切なか物もしない。とにかく今まで大切なかつた好きなモノを追いかける。

流行を追うのも大事だけれど、いつまでも愛せるモノを連れ歩く。時代も色褪せない。気な時代で、今はまだアメリカがつけば身のまわりには昔ながらのアメリカン・ブーツだ。これで永遠のスタイルだ。



カルチャーアメリカン
結局、アメリカが好き。

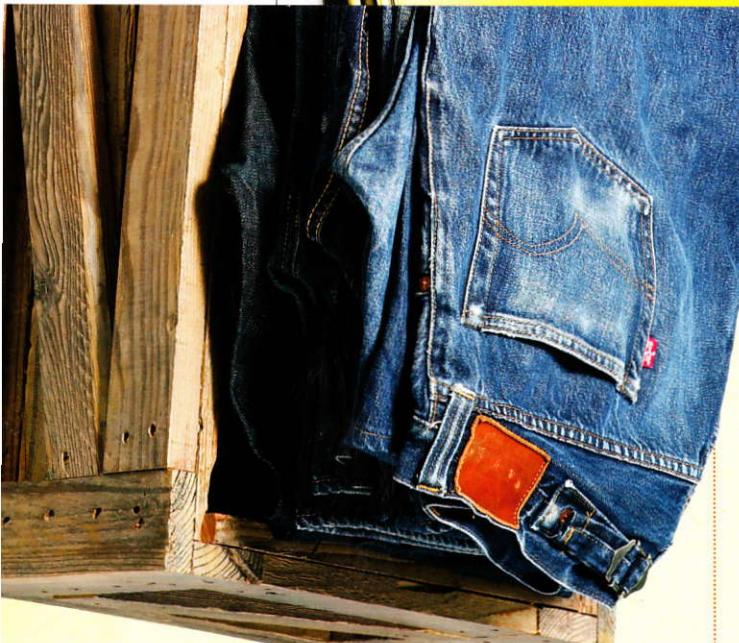
16周年
特大号

本物にこだわる。
使うなら、いい。



物欲を満たせ。

デニムやレザーナーなど、使い込むアイテムから、モノを育めてアーティストへといふ喜びを知る。手に入れただけでは未成。ガバガバ使い続ける道のりが、男の欲をとくすべはすがすがしい。





MSFC
Chino Rider

チノクロスを用いた
1940年代のトラウザ
ーシルエット。アンク
ル部分にバックポケッ
トを備える。サイドの
バックルストラップが
特徴的。2万790円



MSFC
Midnight
Rider

10オンスのミッ
ドナイトデニム。
縦にインディゴ、
横にブラックの糸
を使用した生地で、
穿き込むと全く異
なる表情を見せる。
ワンウォッシュ2
万6040円。ハ
ードウォッシュ3万
6540円



サンジエルスから発信される
夢のコラボレーション。



MSFC SPEED-SAFE CLOTHING FOR MODERN RIDERS

“MFSC”とは、ヴィンテージウェアが持つ魅力を最大限に發揮するショ
ップ“Mister Freedom”的クリストフ・ルアロンと、長年培ってきた物
作りの技術で常に新しい可能性に挑戦し続けるブランド“Sugar Cane”
とのコラボレーションシリーズ。今回のテーマとなっているのは1930年代か
ら'60年代にかけて生み出された実用性と機能美を併せ持つライディング
ウェア。夢のコラボの2010 SPRINGコレクションをいち早くお届けする。

text/A.Takeuchi 竹内淳 photo/Y.Nomoto 野本裕司
問い合わせ/東洋エンタープライズ
TEL03-3632-2321 www.toyo-enterprise.co.jp



MSFC Breezer Jacket RAYON/COTTON

前後に備える計3つのパッチポケット、ダイヤモンド型のエルボーパッチが特徴的。レーヨンコットンの生地は着用によって風合いを増す。ワンウォッシュ 2万9400円。ハードウォッシュ 3万3600円

MSFC Midnight Jacket DENIM

1940年代のサマーフライトジャケットのシルエット。前タテや襟ウラにデットストックのチェック生地を使用。ワンウォッシュ 2万9400円。ハードウォッシュ 3万3600円



MSFC Mechanic Shirt

裾で大きく重なるペティフラップをはじめ独特のパターンを三本針の巻き縫いで縫製。ボタンはメタルに同色のペイントを施したもの。各1万7640円

MSFC Breezer Jacket RAYON/COTTON w/Patch

レーヨンコットンのブリーザージャケットに、ビストンとコンロッドをモチーフにしたモーターサイクルクラブ風の刺しゅうパッチをプラス。3万3600円



MFSC S/S CLUB SHIRT " HELMET "

革巻きのヘルメットをデザインモチーフにしたクラブTシャツ。同じくライトイウェイトの丸胴ボディにヒビ割れプリントを施す。各7245円

MSFC S/S CLUB SHIRT "ROCKET"

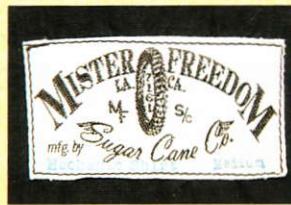
自らもトライアンフを駆るクリストフ氏がソルトフラッシュレーサーをモチーフにデザイン。西海岸風のソフトタッチな丸胴ボディにヒビ割れプリント。各7245円

MSFC UNION TEE

1930年代のヨーロピアンアンダーシャツ。ヘンリーネックにユニオンチケットがつく。丸胴で袖はアンダーアームガゼット。カラーも豊富。各8295円

CHRISTOPHE LOIRON

クリストフ・ルアロン：1966年、南フランス・モンペリエ生まれ。幼少をアフリカで過ごす。'90年に「スティーブ・マックイーン」「ポール・ニューマン」などのスターに憧れてアメリカに移住。セレブリティのスタイルにヴィンテージを取り入れるきっかけを作り出したセレクトショップ“アメリカンラグシー”的バイヤーを経て、'95年に独立。'02年にはヴィンテージストア兼スタジオ“MISTER FREEDOM”をハリウッドにオープンした。多くのファッショndefザイナーや映画のスタイルが彼のセレクションを見るために入れる。現在はデザイナーとしても活躍。www.misterfreedom.com



具現化した唯一無二の空間が広がる。



↑'70年代にノースビーチレザーのデザイナーだったロバート・ワーナーさん。この日着ていたのも'70年代の自分で作ったジャケット



ノースビーチの伝説をつくった男。



スタッズベルトの鬼。

↓本誌でもお馴染みのフラットヘッドも出店。ジーンズからブーツ、スカジャンまで幅広く展示。小林代表もポーズをキメてくれた



↑HTCのジップさんも出店。最近ではベルト以外にスティーブンソン・オーバーオールズもかなり認知された様子だ

←恵比寿のヴィンテージショップ、スタンダード・カリフォルニアのブースにはオーナーの阿久戸さんが。オリジナル商品を展示



↑富山のハヤブサ キャットクローザーも貴重なスカル柄などのスカジャンを展示。出村さんが手に持っているシャツは幻の……



↑GLORYのジェイソンさんと本誌編集長のラーメン小池。バイクに関連する武骨なアイテムも数多く揃っている



↑30周年を迎えた国産デニムの雄、ステュディオ・ダ・ルチザンも出店。藤川社長もブースに立ち、海外のバイヤーに対応していた



日本初のバッグや小物も注目を浴びていた!



(上)原宿のリトルレアータの宮崎さんもデッドストックのヴィンテージを出品。(右)お馴染みのマスタービースのブースも注目を浴びていた



いつものとおり格好良くキメてくれた。



Mister Freedomのクリストフ・ルアロンさん。凝ったディスプレイの中にはバイクやミリタリーテイストが溢れる